

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和4年4月30日

事業所名 児童発達支援 翔 はばたき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1フロアをフルに活用	フロアの中心に柱が有って狭く思う時もあるが、柱を登り棒代わりに遊べるので良い時もある
	2	職員の配置数は適切である	○			出来れば、経験豊かな児童指導員等を増やしていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童が判りやすい環境を整えている	子供たちの危険度が低い様に、またバリアフリーに近い改修と改善を図る様に務める
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		手洗い、うがいアルコール消毒を徹底している	生活習慣の基本を重視し遊具の消毒や整理整頓をしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	業務前、終了後に必ず改善を図る	スタッフ全員で課題について話し合い、改善していく様努める
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		直接保護者から意向等確認している	支援学校や他の関係機関と連携し情報を共有している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している	ホームページ、YouTube、ブログ等での情報公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		保護者、支援センター、学校、病院等、色々な業種との業務連携を図る
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	市内、府内の研修に参加	コロナ禍でできていないが、今後落ち着いたら専門的なスキルを養う為、色々な研修に参加していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者との合意の上作成している	常に事業所での様子、学校や家庭での様子も聞き取り支援計画を作成している
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個々に障害の形態が違うので標準化は難しい為、個別に行う	家庭での様子、学校での様子の聞き取りと、事業所での行動観察の結果を利用している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		適正に立案設定している。出来る限り、本人、家族の希望に添える様にしている	ガイドラインに沿って一人ひとりのニーズに応じて可能な限り具体的な支援項目の設定に努める
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別に配慮している	家族や相談支援員にアドバイスをし、頂いている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		チームというものは無いが毎日協議している	支援目標の共通の理解をし、支援の改善に活かせる様チームで行える様努める
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		永遠の課題でもあり、外出等もプログラムに入れる	その日の利用者の状況に応じて臨機応変に対応できる様にしている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			他の事業所や学校での活動を考慮しより細かい支援計画を作成する様努める

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	○		毎日送迎の配車、担当者の確認をしている	送迎、支援内容を確認し欠席者の確認をし、伝達事項に漏れがないか確認している
	18	○		1日を振り返り日誌を書き情報共有している	何でも気付いた事を言える様に他の話題等も自由に話せる時間を設けている
	19	○		業務日誌や連絡帳を共有している	日誌を見て振り返り、問題点があれば話し合い、支援の改善に努めている
	20	○		定期的ではないが会議の時には行っている	成長の発達や、他の環境の変化に応じて柔軟に対応しているが、より良い支援の為、関係機関との連携を一層深めていく様努める
関係機関や保護者との連携	21	○		児発か、関わりの深い児童指導員が参加している	サービス担当者会議を通じて担当者間の密な連携と情報交換に努めている
	22	○		母子福祉会の会員と交流している	関係する機関と連携し情報を得て支援に活かす様努める
	23	○		連絡体制に留意している。スタッフは喀痰吸引第3号研修を行っている。	看護師も配置し主治医より指示書を出して頂きそれに沿った支援をしている。看護師がいない日は、研修を受けたスタッフで対応している
	24	○		連絡体制に留意している。スタッフは喀痰吸引第3号研修を行っている。	看護師も配置し主治医より指示書を出して頂きそれに沿った支援をしている。看護師がいない日は、研修を受けたスタッフで対応している
	25	○			保育園や幼稚園入園前の機関などの連携に努める
	26	○			関係機関と連携し、情報収集に努める
	27		○	連絡協議会に参加している	情報や助言を受けているが、研修についてはコロナ禍の為控えている。
	28		○	保育所の周りを散歩している	コロナ禍の為控えているが、保育所や子ども園、幼稚園との交流や一緒に活動する機会を作ろうと思う
	29		○	無くなってしまった	以前は協議会で情報を得ると共に今後の課題等について情報収集する様に努めていたが、現在は、生活介護の自立支援協議会で情報収集している。
	30	○			保護者に送迎時、直接お会いした時やイベント、行事などに参加して頂いた時に伝えている
31		○	個別に問題点を配慮している	家族の対応は難しいが、ファミリーターが中心になり家族支援ペアレントトレーニングの支援を行える様努める	
32	○			契約時に書面と口頭で説明している。	
33	○		支援計画を作成している	支援計画の内容を確認し保護者に説明して必ず同意を得る。状況の変化等に応じて変更できることを丁寧に説明する様に努める	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ブログやYouTube、ホームページに載せ閲覧してもらっている	会報等は発行していないが、イベントや行事の際に伝えている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者参加型のイベント行事等で連携している	父母の会は現在存在していないが、今後視野に入れて支援する様努める
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情や相談担当者を決めて対応している	苦情や相談があれば早目の対応ができる様職員間で報告、連絡、相談体制をとっている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログやYouTube、ホームページに載せ閲覧してもらっている	会報等は発行していないが、公式ラインで毎月の様子を伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		保護条例に基づき注意している	定期的に法人の規約や条例を再確認する様努めている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			利用者、保護者とのコミュニケーションを大切にして支援の充実を図る
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナ禍で中止ななる	こちらのイベントにも参加してもらえ様、年に2回は招待している
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		公式ラインやホームページ等で流している	防犯マニュアルについては解りやすいマニュアルを作成し直し特に重要な事は職員や保護者に周知徹底する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難経路を散歩はしている	消防署などに助言してもらいながら、市の指定の避難場所への避難訓練を行うことに努める
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		初回面談時に聞き取りをしている	定期的に更新する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		エピペンを所持している児童がいる為研修している	現在該当社なしだが、アレルギーのある子どもには医師の指示書とマニュアル通り対応します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		送迎中やそれ以外の	最大の注意を払い事例を文書化して記録に残す
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		市や府内の研修に参加している	行政や相談支援員より情報収集し、何が一番良いのかを考え、一人一人の障がいの特性を理解し人権に関する意識の向上を図り研修を受ける
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		該当なし	やむを得ずという場合は、保護者と連携を図り身体拘束についての理解を深めた上で状況説明をし了解を得る。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。